

いかに弁証論治するか [続篇] 第 1 版第 2 刷訂正箇所

- p2 表 「湿邪」と「燥邪」を入れ替える
- p5 下から 7 行目 銀翹に羚羊角 銀翹散に羚羊角
- p6 桑菊飲 表 桔梗の後に 甘草 を加える
同じ行の 宣肺・利咽の 宣肺 を削除
麻杏甘石湯 表 石膏 清肺 石膏 清肺熱
- p9 参蘇飲 表 人参・甘草の後に 大棗 を加える
半夏・陳皮・前胡・桔梗の後に 生姜 を加える
下から 5 行目 「暑湿感冒」 しそ・いんげん しそ・みょうが・いんげん
- p16 清肺湯 表 貝母・桔梗・杏仁・陳皮 竹筴・貝母・桔梗・杏仁・陳皮・甘草
天門冬・麦門冬・五味子・当帰の最後に 大棗 を加える
茯苓の後に 生姜 を加える
- p18 六君子湯 表 甘草 炙甘草
四君子湯の組成の最後に 生姜・大棗 を加える
- p19 滋陰降火湯 表 白朮の後に 甘草 を加える
- p30 表 六神丸に * をつける
- p49 白虎加人参湯の解説 7 行目 高熱の後に , 口渴 を加える
- p50 香蘇散 表 紫蘇葉の後に 生姜 を加える
- p57 二朮湯の解説 11 行目 威靈仙は十二經に歸經し, の 十二經に歸經し, を削除
- p67 加味逍遙散 表 白朮・茯苓の後に 生姜・甘草 を加える
- p68 半夏白朮天麻湯 表 2 行目 甘草 炙甘草, 最後に 生姜 を加える
- p68 半夏白朮天麻湯の解説の最後に
日本の「半夏白朮天麻湯」(黄耆・人参・麦芽 健脾, 沢瀉・黄柏 清熱滲湿,
乾姜・生姜 化痰) も適応できる。 を加える
- p81 表 星楼承氣湯に * をつける
- p83 「瘀血阻絡」の 3 行目 旺盛な寒が の 旺盛な 削除
- p87 最後の行 () 内
慢性胃腸炎・慢性潰瘍病・過敏性大腸炎 慢性胃腸炎・慢性潰瘍病など
- p88 六君子湯 表 甘草 炙甘草, 1 行目最後に 生姜・大棗 を加える
- p88 補中益氣湯 表 甘草 炙甘草
生姜・大棗 和中・調胃 を加える
- p88 帰脾湯 表 当帰の後に 大棗 を加える
- p92 下から 6 行目 () 内
活字やテレビを見過ぎない 活字やテレビ, またはいやなことを見過ぎない

p96 苓姜朮甘湯 表 甘草 炙甘草

p96 五積散 表 4行目 当帰・芍薬・川芎 当帰・芍薬・大棗・川芎

解説の最後に 日本の生薬組成はやや異なるが、適応できる。 を加える

P99 独活寄生湯 表 2行目 生姜を削除

P108 白虎湯 表 甘草 炙甘草

P110 小建中湯 表 正



P110 小建中湯の解説の最後に 婦人科の腹痛に「当帰建中湯」を用いる。 を加える

P119 牛車腎気丸の表 八味地黄丸の下3行を [でくくる

P125 9行目 規則的な欠損の 規則的な を削除

P133 表 百合固金湯に * をつける

表の最後に *日本にない方剤 を加える

p137 大黃牡丹皮湯 表 大黃・芒硝 大黃(破瘀)・芒硝

p140 帰脾湯の表 2行目 甘草 炙甘草

p141 本文4行目 茵蔯蒿のあとに 苦参 を加える

p143 8行目 外風には風寒と風熱の2つがある

外風はそれぞれ寒・熱・燥を伴って侵入することが多く、風寒・風熱・風燥に分類される。

p144 表 1行目 外風(風寒・風熱) 外風(風寒・風熱・風燥)

p146 防風通聖散の表 最後の行「甘草」の前に 白朮 健脾・燥湿 を加える

最後の行 甘草 調和・解毒 生姜・甘草 調和・和胃

p148 当帰飲子の表 最後に 甘草 調和 を加える

解説 4行目 萎縮性の皮膚病 の 萎縮性 を削除

p150 小建中湯 表 正



P151 下から2行目 あずき・おおばこ あずき・緑豆・おおばこ

P156 柴苓湯 表 2行目 甘草 炙甘草

P166 通竅活血湯 表 老葱の後に ・黄酒 を加える

- P168 帰脾湯 表 1 行目 甘草 炙甘草
 2 行目 酸棗仁の後に大棗・遠志 を加える
 3 行目 大棗を削除
- p169 桂枝加竜骨牡蛎湯 表 甘草 炙甘草
- P170 七宝美鬚丹 表 2 行目 「牛膝」の補肝腎・強筋骨の後に ・活血 を加える
- P172 最後の行 以上の医案 以上の古典
- P174 加味逍遥散 表 白朮・茯苓の次行に 生姜・炙甘草 化痰和胃 を加える
 4 行目 山梔子・5 行目 牡丹皮の行をまとめて
 山梔子・牡丹皮 清熱 とする
- p177 知柏地黄丸+加味逍遥散 表 4 行目・5 行目の [を 3 行目・4 行目に移動
 5 行目 知母・黄柏を 1 文字左へ移動
- P177 下から 2 行目 キウイ・はと麦の後に 枇杷葉茶 を加える
- P185 最後に スベリヒユ(馬齒莧・五行草) 黄帯を治療する。 を加える
- P188 20 行目 例えば結核患者に 例えば結核患者, 炎症を持っている患者に
- p192 加味補中益気湯 表 甘草 炙甘草(2カ所)
- P193 加味逍遥散 表 当帰・芍薬の後に 生姜・炙甘草 化痰和胃 を加える
- P195 下から 11 行目 「十全大補湯」の次行に「当帰芍薬散」を加える
 下から 10 行目 前周期 全周期
 下から 8 行目 「当帰芍薬散」「温経湯」を除く
- p201 香蘇散 表 3 行目 炙甘草 調和 生姜・甘草 化痰和胃
- p201 温胆湯 2 行目 甘草 炙甘草, 2 行目最後に生姜を加える
- p217 「病因病機」血虚腸燥の【症状】 (3)と(5)の項目を削除し,(4)を(3)に
- p238 補中益気湯 表 陳皮の次行に 生姜・甘草 化痰和胃 を加える
- p238 帰脾湯 表 2 行目 酸棗仁の後に大棗 を加える
 3 行目 木香の後に生姜 を加える
- p240 温胆湯 表 半夏・陳皮・茯苓・甘草 半夏・陳皮・茯苓・炙甘草・生姜
- p243 13 行目 脈弦なる者は虚なり。胃氣に余りなく, を削除
- p256 補中益気湯 陳皮の後に 当帰 補血・和血 を加える
- p276 帰脾湯 表 4 行目の大棗を 3 行目の酸棗仁の後に移動
- p277 抑肝散 表 炙甘草 甘草
- p277 柴胡加竜骨牡蛎湯 表 人參・大棗 健脾・気 人參・大棗 健脾・益気
- p278 竹筴温胆湯 表 二陳湯の組成 甘草 炙甘草, 最後に生姜を加える
 枳実の後に香附子を加える
 竹筴の後に以下を加える
 麦門冬 潤肺・化痰

桔梗	宣肺・化痰
柴胡	散邪・清熱
黃連	清熱・解毒
人參	健脾・益氣

甘草 炙甘草

葛根湯 p223 (4行目)

加味逍遙散 p90, 105, 148, 166, 223, 230, 239, 261

桂枝湯 p183, 223

血府逐瘀湯 p260 (4行目)

柴苓湯 p207

四逆散 p107, 117, 159, 175, 260

芍藥甘草湯 p98, 160

十全大補湯 p168, 257

逍遙散 p205

當歸飲子 p165

二陳湯 p18, 91, 176, 202

半夏瀉心湯 p138

補中益氣湯 p70